

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室

TEL 03-5253-8111 内線 42354

アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成29年 2月23日

リコール届出番号	3997	リコール開始日	平成29年2月24日
届出者の氏名又は名称	マツダ株式会社 代表取締役社長 小飼 雅道	問い合わせ先：マツダ（株）コールセンター TEL 0120-386-919	
不具合の部位（部品名）	①原動機（インジェクタ）、②燃料装置（燃料リターンホース）、 ③④⑤原動機（エンジン制御コンピュータ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>① ディーゼルエンジンにおいて、インジェクタ取付ナットの締結力が不適切なため、インジェクタガスケットの面圧が低下することがある。そのため、燃焼ガスがシリンダーヘッドに吹き抜け、エンジンオイルが炭化し、炭化したエンジンオイルがオイルストレーナを詰まらせ、油圧低下により警告灯が点灯し、そのまま使用を続けると、エンジンが焼き付き、最悪の場合、エンストに至るおそれがある。</p> <p>② ディーゼルエンジンにおいて、整備作業時の燃料リターンホースの取扱いが不明確なため、当該ホースに係わる作業時に交換されなかった場合、ホース取付部のシール性低下やホース内部に亀裂が入ることがある。そのため、そのまま使用を続けると、ホース取付部や亀裂部から燃料が漏れるおそれがある。</p> <p>③ ディーゼルエンジンにおいて、減速時のエンジン制御が不適切なため、気筒内圧力が低下し、吸気バルブの閉じ力が低くなることがある。そのため、吸気バルブとバルブシート間に煤が挟まり圧縮不良となって、エンジン回転が不安定になるほか、最悪の場合、エンストに至るおそれがある。</p> <p>④ ディーゼルエンジンにおいて、インジェクタ制御回路の電圧変化によるノイズ対策が不適切なため、当該回路に許容を超える電流が流れることがある。そのため、回路が損傷し短絡することでヒューズが切れ、燃料噴射が停止しエンストに至るおそれがある。</p> <p>⑤ ディーゼルエンジンにおいて、過回転制御が不適切なため、アクセル全開等の際、吸気経路内のブローバイガスに含まれるオイルが燃焼室内で燃焼し、エンジン回転が上昇することがある。そのため、エンジンの潤滑が不足して焼き付き、最悪の場合、エンジンが破損するおそれがある。</p>		

改善措置の内容	① 全車両、インジェクタ取付ナットを増し締めする。また、油圧を点検し、油圧に異常が確認された場合は、エンジン内部を洗浄し、オイルストレーナとエンジンオイルを交換する。 ② 全車両、燃料リターンホースを改良品と交換する。 ③ 全車両、制御プログラムを対策プログラムに修正する。 ④ 全車両、制御プログラムを対策プログラムに修正する。 ⑤ 全車両、制御プログラムを対策プログラムに修正する。		
不具合件数	① 222 件 ② 15 件 ③ 370 件 ④ 98 件 ⑤ 46 件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報および国土交通省からの指摘による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近に No. 3997 のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
マツダ	LDA-KE2AW	「CX-5」	KE2AW-100017～KE2AW-217477 平成 24 年 2 月 17 日～平成 28 年 11 月 16 日	51,830 台	①20,781 台 ②49,776 台 ③51,830 台 ④45,165 台 ⑤51,830 台
	LDA-KE2FW		KE2FW-100009～KE2FW-221328 平成 24 年 2 月 13 日～平成 28 年 11 月 16 日	64,876 台	①25,304 台 ②62,257 台 ③64,876 台 ④57,081 台 ⑤64,876 台
	LDA-BM2FP	「アクセラ」	BM2FP-100002～BM2FP-200520 平成 27 年 12 月 1 日～平成 29 年 2 月 1 日	947 台	②431 台 ③947 台 ④61 台 ⑤947 台
	LDA-BM2FS		BM2FS-100006～BM2FS-201449 平成 25 年 12 月 19 日～平成 29 年 2 月 1 日	10,256 台	②8,807 台 ③10,256 台 ④8,478 台 ⑤10,256 台

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の 範囲及び製作期間	リコール対 象車の台数	備考
マツダ	LDA-BM2AP	「アクセラ」	BM2AP-100004～BM2AP-100158 平成 28 年 8 月 2 日～平成 29 年 1 月 30 日	155 台	③155 台 ⑤155 台
	LDA-BM2AS		BM2AS-100007～BM2AS-100685 平成 28 年 8 月 2 日～平成 29 年 2 月 1 日	679 台	③679 台 ⑤679 台
	LDA-GJ2FP	「アテンザ」	GJ2FP-100014～GJ2FP-301324 平成 24 年 10 月 22 日～平成 29 年 2 月 2 日	17,671 台	①7,136 台 ②16,277 台 ③17,671 台 ④15,433 台 ⑤17,671 台
	LDA-GJ2FW		GJ2FW-100012～GJ2FW-301748 平成 24 年 10 月 17 日～平成 29 年 2 月 2 日	20,363 台	①7,396 台 ②18,541 台 ③20,363 台 ④17,561 台 ⑤20,363 台
	LDA-GJ2AP		GJ2AP-100010～GJ2AP-300545 平成 26 年 11 月 3 日～平成 29 年 2 月 1 日	1,983 台	②1,426 台 ③1,983 台 ④1,078 台 ⑤1,983 台
	LDA-GJ2AW		GJ2AW-100007～GJ2AW-300924 平成 26 年 11 月 3 日～平成 29 年 2 月 2 日	3,335 台	②2,385 台 ③3,335 台 ④1,845 台 ⑤3,335 台
(計 10 型式)	(計 3 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 24 年 2 月 13 日～平成 29 年 2 月 2 日	(計 172,095 台)	① 60,617 台 ②159,900 台 ③172,095 台 ④146,702 台 ⑤172,095 台	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。